

日本都市計画学会九州支部第4回幹事会議事録

文責 黒瀬

日時：2003年11月8日 15:00～16:00

出席者：両角、黒瀬、有馬、本間、中村（宏）、辰巳、吉武、菅、坂井、玉田、二宮

配布資料：議事案、第4回理事会報告、平成15年度特別会計資料

回覧資料：都市計画学会誌改訂版見本

議題1：支部長報告（両角）

(1) 平成15年度第4回理事会（9/11）については概要を資料配布した。

(2) 平成15年度第5回理事会（11/7）について（当日の配布資料回覧）

- ・ 都市計画学会誌の装丁がA4版に変更される。レイアウトや表紙デザイン見本を回覧。支部ニュース欄が3～4頁設けられるのに伴い、各支部から編集担当者を決めるよう依頼があった。
- ・ 各支部に会員増強、特に賛助会員増強の依頼があった。
- ・ 都市計画学会は、日本工学会から退会することとした。
- ・ 都市計画国際用語辞典の近日発行予定。内容充実に伴って頁数が増え、6,500円（300頁）。
- ・ 建設系の学会集ってCPD（Continuing Professional Development：継続職業教育）協議会を設立、活動内容を検討中。本会から、ルール検討部会とシステム検討部会のいずれかに参加するよう要請があり、都立大学の高見沢氏に後者の部会メンバーに加わるようになった。
- ・ 2003年度論文発表会（宇都宮大学工学部）の準備状況について報告があった。来年度は広島国際大学（広島県呉市）で行われる予定。

議題2：事務局報告（有馬）

(1) 支部ニュースおよび編集委員について

- ・ 10/31に支部ニュース第30号を320部送付した。主要記事は、佐世保市の田崎氏に依頼。第31号は来年1月中旬発行予定。主要記事は西日本工大の堤氏が担当。テーマは公共交通。第32号は来年3月上旬発行予定。主要記事は宮崎大学の吉武氏が担当。テーマは都市計画審議会の予定。
- ・ 学会誌の支部ニュースを寄稿担当委員について討論の結果、企画委員である九州産業

(2) 研究会シンポジウムの費用について

- ・ 平成16年度に開催予定の各研究会主催シンポジウム費用は、従来どおり特別会計から支援する。平成17年度以降、特別会計の残が小額になるので、シンポジウム等の企画は、有料にするなどして一般会計で対応する。

議題3：来年度シンポジウム等の企画について

- ・ 過去二回の幹事会における関連討論を振り返った。
 - ・ 第2回幹事会では、「九州のビジョン」、「特区構想」等の単独シンポジウムの企画について討論した。第3回幹事会では、支部の活動を支部会員や市民に開かれたものにするという視点から、3つの研究会が平成16年度開催予定の研究発表会を集中開催し、これをコアにした行事を企画する案が提案された。
 - ・ 大学研究室の活動内容発表など学生が参加する企画についても討論の後、次の3点を確認した。3つの研究会の発表を主体とする。できる限り統一的なテーマを設定し、基調講演も考える。時期、場所、形式について次回の幹事会で煮詰め、3月には会員に提案する。
-
- ・ 次回の幹事会の日程は、来年1月19日～23日とし、後日、事務局から連絡する。